

禁忌事項（安全の配慮のため検査を中止する事項）一覧

| 検査 | 内容 |
|--------|--|
| 脳MRI検査 | 体内に下記の装置が入っている方 |
| | ・ ペースメーカー |
| | ・ 除細動装置 |
| | ・ 人工内耳 |
| | ・ 神経刺激装置 |
| | ・ 体内金属（脳動脈瘤クリップ・コイル、ステント、人工関節等） |
| | 体重120kg以上、胸・腹囲130cm以上の方は事前にご相談ください |
| 胸部X線検査 | 妊娠中、または妊娠の可能性のある方 |
| 胃部X線検査 | 妊娠中、または妊娠の可能性のある方 |
| | 当日の血圧測定値の平均が収縮期血圧180mmHg以上または拡張期血圧110mmHg以上 |
| | 当日腹部超音波検査を実施し腹部大動脈瘤径が40mm以上、または形状が「解離性」、「のう状」の場合 |
| | 胸部および腹部大動脈瘤の既往がある方は、管理状況等によって中止となる場合があります |
| | 過去にバリウムによるアレルギー反応（息苦しさ、発疹等）を起こしたことがある |
| | 過去にバリウムを飲んだために腸閉塞、気管支炎、肺炎等で治療を受けたことがある |
| | 腎臓疾患、心臓疾患等で水分摂取制限をしている |
| | 体重が130kg以上（胃部X線検診車・巡回健診） |
| | 体重が150kg以上（据付胃部X線装置・ドック・施設健診） |
| | バリウムの誤嚥をしたことがある方は中止になる場合があります |
| 胸部CT検査 | 妊娠中、または妊娠の可能性のある方 |
| | Medtronic社製両心室ペースメーカー（InSync）またはMedtronic社製ペースメーカー（Thera-i）をつけている方 |
| | 植込み型除細動器（ICD）をつけている方 |
| | 10秒間の息止めおよび体動を止められない方 |

禁忌事項（安全の配慮のため検査を中止する事項）一覧

| 検査 | 内容 |
|------------------------|---|
| 内臓脂肪 CT 検査 | 妊娠中、または妊娠の可能性のある方 |
| | 10 秒間の息止めおよび体動を止められない方 |
| 呼吸機能検査 | 心筋梗塞の既往のある方で「治療中」、「経過観察」、「放置」の方 |
| | 脳血管障害（脳動脈瘤）の既往のある方で「治療中」、「経過観察」、「放置」の方 |
| | 大動脈瘤の既往のある方で「治療中」、「経過観察」、「放置」の方 |
| | 当日の血圧測定で収縮期血圧が 1 回でも 200mmHg 以上ある場合 |
| 乳房 X 線検査 | 妊娠中、または妊娠の可能性のある方 |
| | 体内に下記の装置が入っている方 |
| | ・ 除細動機能付き両室ペースメーカー（CRT-D） |
| | ・ 植え込み型除細動器（ICD） |
| | ・ 補助人工心臓（VAS）植え込み型 |
| | ・ 補助人工心臓（VAS）体外型 |
| | ・ CVポート（皮下薬物注入器具） |
| | ・ V-Pシャントチューブ（脳室と腹腔を連絡する細い皮下チューブ） |
| | 豊胸・美容術のうち、以下に当てはまる方 |
| | ・ バックプロテーゼ（シリコンバッグ）挿入法・人工乳腺法（ジェル状・液体状の内容物が詰められたバック（インプラント）を挿入する豊胸術） |
| | » シリコン、コヒーシブシリコン、バイオセルバック、クリスタルバック、CMCバック、生理食塩水、ハイドロジェル等 |
| ・ シリコンやパラフィン等を直接注入している | |

禁忌事項（安全の配慮のため検査を中止する事項）一覧

| 検査 | 内容 |
|---------|---|
| 血圧脈波検査 | 深部静脈血栓症、血栓性静脈炎の既往 |
| | 浮腫 |
| | 慢性腎不全の既往、人工透析中 |
| | 乳がん手術をした方 |
| | 四肢に外傷がある方 |
| | 車イスの方 |
| | 閉塞性動脈硬化症、血管炎、レイノー病の既往 |
| | 動脈瘤、動脈解離の既往 |
| | 不整脈（心房細動等）の既往 |
| 内視鏡検査 | キシロカイン（上部内視鏡検査や歯科治療等で局所麻酔に使用する薬剤）のアレルギーのある方 |
| | 妊娠中、または妊娠の可能性のある方 |
| | 授乳中の方（薬剤使用のため）。ただし経口での検査は可能です |
| | 当日の健康状態によっては医師の判断で検査を中止する場合があります |
| | 体重が200kg以上の方 |
| 体脂肪測定 | ペースメーカーが入っている方 |
| | 妊娠中の方 |
| 検査・健診全般 | 38℃を超える発熱がある場合は受診できません |

受診時のお願い

| 検査 | 内容 |
|---------------|---|
| 服薬 | <p>前日、当日ともいつもどおりお飲みください。 受診日当日の朝は、血糖を下げる薬は中止してください。 高血圧や心臓病の薬は服用してきてください。 ただし服薬については主治医に事前にご確認ください。</p> |
| 食事 前日 | <p>飲食は受付時間の 10 時間前までに済ませてください。その後、水分は摂ってもかまいませんが、アルコールは控えてください。</p> |
| 食事 当日 | <p>検査終了までは飲食・喫煙をしないでください。 起床後すぐに少量の水（約 100ml）は飲んでもかまいません。 午後に胃部X線検査を受診される方については、以下のとおりお願いいたします。 ・ 当日朝 7 時までに食べて良いもの：何もつけない食パン 1 枚、砂糖やミルクを入れていないコーヒーや紅茶 ・ 水やお茶に限り当日 10 時まで飲んでもかまいません。</p> |
| 診察について | <p>受診される方に誤解を与えず気持ちよく受診していただくため、あらかじめ注意事項等お知らせすることといたしました。 ・ 受診する際は、事前に下着（ブラジャー等）を外し、診察や検査のしやすいTシャツ等の衣服に着替えてから、受診いただくようお願いいたします。 ・ 診察の際、事前に下着（ブラジャー等）を外してこれられない場合は、適切な診察ができない場合もありますのでご了承ください。 ・ 診察の際はシャツをまくり上げていただくこととなりますので、ご協力をお願いいたします。</p> |
| 内科診察の受診勧奨について | <p>医師の内科診察（他覚所見）で医療機関受診が必要と判断した場合「健康診断における所見について」の文書をお渡しします。 例）重症な不整脈、心雑音、甲状腺腫等、早急に受診が必要な場合 本対応は、他覚所見のみの情報のため紹介状としての機能はありません。あくまでも健診結果を待たずに早期受診につなげるためのものです。 後日、健診結果とともに別途紹介状（心電図所見等）が発行されることがあります。その際は受診先の医療機関にご提出願います。</p> |
| 健康診断当日 | <p>受付時、以下に該当する方はお申し出ください。 ・ 体内にペースメーカー、金属または磁性物質等が入っている方 ・ 妊娠中、または妊娠の可能性のある方 ・ 採血で具合が悪くなった経験がある方、血液が止まりにくい方</p> |
| 排便方法 | <p>前日と当日（または前々日と前日）、計 2 日分を採便してください。 しっかり 2 日分提出することにより大腸がんの発見率が上がります。なお 1 日分しか提出がなく「陰性」の場合は正しい判断が出来ないため、判定できません。 ・ 採便後は容器を提出用袋に入れ、低温保管してください。 ・ 容器と袋に氏名を忘れずに記入の上、提出用袋に入れてお持ちください。 ・ 生理中は採便をしないでください。</p> |
| 採血 | <p>採血後に具合が悪くしたことがある方は、あらかじめお申し出ください。 採血後は座った状態で 5 分間安静にさせていただきます。採血後数分間に多い迷走神経反射によるめまいや意識喪失での転倒を防ぐためです。発生の予測が困難であるため、全ての方をお願いいたします。ただし、巡回健診において安静場所が確保できない場合は除きます。 採血後、採血部位をもんだり刺激したりせず、約 5 分間上から軽く圧迫して完全に止血してください。止血が不完全ですと周囲に血液が漏れ出し、周辺組織の腫脹、皮膚色の変化、しびれ、筋肉の脱力感等が出現することがあります。通常 2～3 週間程（場合によってはもう少し時間がかかります）で自然に回復しますので、心配ありません。止血時の圧迫を徹底することで軽減につながります。</p> |
| 胸部X線検査 | <p>服装は無地のTシャツもしくは無地の薄手の肌着で、金具やフックのある下着やネックレス等を外していただきます。湿布、カイロ等は剥がしていただく場合があります。</p> |
| 胸部CT検査 | <p>服装は無地のTシャツもしくは無地の薄手の肌着で、金具やフックのある下着やネックレス等を外していただきます。 ペースメーカー植え込みの場合は、検査可能かどうか主治医への確認が必要となります</p> |

受診時のお願い

| 検査 | 内容 |
|------------|--|
| 内臓脂肪 CT 検査 | 撮影範囲（へその位置の胴回り）にある金属やプラスチック、湿布等を取っていただきます。撮影範囲内に体内金属がある場合は、正確に計測することができない場合があります |
| 心電図 | 事前に下着、ストッキングを脱いできていただくようお願いいたします。 |
| 眼圧 | コンタクトレンズは外していただきます。ケース等ありましたらご持参ください。 |
| 子宮頸がん検診 | <p>子宮頸がん検診は、子宮の入り口付近（子宮頸部）の細胞をブラシで採取し、顕微鏡でがん細胞がないか調べる検査です。また、子宮や卵巣等の状態を医師が内診で確認します。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 着脱の時間のかかる下着はあらかじめ外してください（ボディースーツ・ストッキング等）。 ・ 生理中でも受診できます。 <p><検査の受け方></p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 下着を脱いで診察台に上がります。 ・ 手は胸におき、口でゆっくり深呼吸をして体の力を抜きます。 ・ 検査中に痛みがあるときは我慢せずお申し出ください。 <p><検査後の注意></p> <p>検査のあと痛みや出血することがありますが、症状は数日で自然に治ります。検診を受けた当日はシャワーか掛け湯だけにしましょう。また、性行為も控えましょう。</p> <p><規定の細胞が採れなかった場合></p> <p>正確に判断するため、採取する細胞の数が決められています。そのため顕微鏡でみて細胞が少なかった場合には再度検査をお願いする場合がありますので、ご理解とご協力をお願いします。</p> |
| 所持品について | 貴重品の持ち込みは、トラブルを防止するためご遠慮ください。 |
| 喫煙について | 健康増進法等に基づき、館内・敷地内禁煙となっておりますのでご協力願います。 |